

2023 年度長野米カップ第 17 回長野県小学生バレーボール大会

県大会競技上の注意事項

1 競技規則について

- ・この大会は、2023 年度公益財団法人日本バレーボール協会 6 人制競技規則による。但し、別に定める小学生バレーボール規則を採用します。
- ・全試合 3 セットマッチとします。
- ・使用球は、公益財団法人日本バレーボール協会が公認する合成皮革軽量 4 号ボールを使用します。男子・女子・混合とも「モルテンボール (V4M5000-L)」とします。空圧については 6 人制競技規則に準ずる (基本的は 305hpa)。
- ・空気圧は基本試合前に確認する、競技委員、審判委員の協力にて行います。

2 試合の進行について

・監督会議中について

監督会議中はボールの使用は不可であるが全チームによるアップ時間とする。監督会議終了後、メインアリーナで開会式を行う。

・男子・女子 (C・Dコート) 混合について

開会式終了後、第 1 試合の 2 チームによる 15 分間のボールを使用しての合同練習とし、プロトコール、トス、公式練習、ゲームとします。第 1 試合終了後 5 分間をコートチェックの時間とし (ベンチ等の消毒作業時間を含む・ボール使用は禁止)、その後第 2 試合の 2 チームによる 15 分間のボールを使用しての合同練習とし、プロトコール・トス・公式練習・ゲームとします。

第 3 試合以降は、前試合終了後 5 分間をコートチェックの時間とし (ベンチ等の消毒作業時間を含む・ボール使用は禁止)、その後当該試合の 2 チームによる 10 分間のボールを使用しての合同練習としプロトコール、トス、公式練習、ゲームとします。

・女子 (E・Fコート) について

開会式終了後、サブアリーナへ移動し、移動終了後第 1 試合の 2 チームによる 15 分間のボールを使用しての合同練習とし、プロトコール、トス、公式練習、ゲームとします。第 1 試合終了後 5 分間をコートチェックの時間とし (ベンチ等の消毒作業時間を含む・ボール使用は禁止)、その後第 2 試合の 2 チームによる 15 分間のボールを使用しての合同練習としプロトコール・トス・公式練習・ゲームとします。

第 3 試合は、前試合終了後 5 分間をコートチェックの時間とし (ベンチ等の消毒作業時間を含む・ボール使用は禁止)、その後当該試合の 2 チームによる 10 分間のボールを使用しての合同練習としプロトコール、トス、公式練習、ゲームとします。

第 3 試合で勝利したチームは、メインアリーナへ移動する。

- ・昼食については、一斉となるか、適宜とるかは試合の進行状況により決定し連絡する。
- ・全試合とも合同練習終了後両チーム選手は全員一旦ベンチに下がること。
- ・全試合とも各セット終了後必ずベンチ等の消毒作業を行い、コートチェンジを行うこと。また、試合終了時においてもベンチ等の消毒後速やかにベンチを開けること。
- ・テクニカルタイムは、第 1・第 2 セットはどちらかのチームが 11 点先取した時点、第 3

セットは、どちらかのチームが8点先取し、コートチェンジをした時点で行う。

3 エントリーについて

- ・エントリーについては、有効に登録された選手とし、受付時に構成メンバー表を提出願います。
構成メンバー表は、申込書のエクセルシート内にあるものを使用する。

4 チーム編成、服装について

- ・ベンチには監督（成人）、コーチ、マネージャー各1名選手14名以内とします。
- ・監督、コーチ、マネージャー章は各チームで用意し必ず左胸に付けること。
また、ベンチ内の資格保持者全員試合中、資格証明書、県小連指導者登録済証を胸に掲げること。また、チームスタッフは本大会申し込時までにJVA-MRSに登録されている者として。服装に付いては統一されていること。
- ・小学生がベンチスタッフとして入る場合、短パン、Tシャツを認める。また、Tシャツの色は他のベンチスタッフと同じような色でなくても良い。
- ・アンダーウェアを着用する場合はユニフォームの袖や裾、首などからはみ出してはならないが、本大会は冬場での大会であり、半袖のユニフォームからアンダーウェアがはみ出てもよい。ただし、全員が同じ色であること。
- ・公式練習時・合同練習時の補助（ボール拾い等）はベンチスタッフと選手が行い、その他の者が補助を行うことはできない。

5 競技中の遵守べき事項

- ・「大会開催マニュアル（2022.10.10改定）」の別紙「参加者が遵守すべき事項（選手・チームスタッフ・応援者の義務）」を遵守すること。
応援についての補足として、応援は発声を可とするが、マスクの着用を推奨する。応援グッズ（太鼓、ラッパ、メガホン、ペットボトル、うちわ等）による鳴り物での応援はしない。
また、メガホンを使用しての発声は禁止する。
本内容を遵守できない者及びチームには、会場への入場を拒否したり、途中退場を求めたりすることがあります。
チーム責任者は、必ず本内容を参加者（応援者含む）に周知・徹底すること。
- ・ビデオ撮影については、自チームの試合のみとする。但し、他の試合を撮影する場合は該当するチーム監督の了承を取ること。
- ・写真撮影時のフラッシュはゲームの妨げになりますので禁止となります。

6 ワイピングについて

- ・試合中のワイピングは、選手各自が小さなタオルを持って速やかに行うこと。
- ・モップ使用のワイピングは、タイムアウト時、セット間にベンチの選手が行うこと。
時間の関係上センターライン側から行う。（監督さんから試合前に指導をお願いします）
また、審判員の指示があった場合は随時行うこと。

以上